

だから、尚文舎にいこう。

17歳新聞

2012
4月

[第2号]

札幌大谷高等学校
新聞局 発行

責任者
第2号編集長
大浅 啓輔

★「17歳」は高校生を表すキーワードのひとつ。青春真っ直中の多感なときに社会で活躍する人から人生観を学び、生徒を応援していく新聞です。

今回は
「おしえてシゴト人」



▲ 左:山本享子さん 右:上村まゆみさん 二人の笑顔は0円。スマイルくださいー!

後輩はわが子のように

大谷生なら誰もが知っている尚文舎。食べ物や文房具、制服などを扱うことができます。お昼時には、長蛇の列。みなさん一度は経験したことがあるはず。尚文舎の方々は、大谷の卒業生。ボランティアとして働いています。上村さんは「休み時間は混んで大変だが、生徒は自分の子どものようにかわい。たくさん勉強して素敵な大人になってほしい」という。



▲ どのパンにしようかな・・・

仲間と楽しく食べる

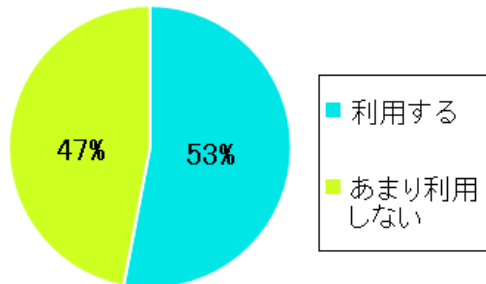
大谷の百六十年の歴史の中で、長く愛されているロングセラーは、チョコチップメロンパン。きつと、ラスクだと予想した人はたくさんいると思います。実は、ラスクはひそかに人気がある。山本さんは「おいしい食べ方はやはり楽しい仲間と楽しく食べるのが一番」と笑顔であつた。パンのインクが無くなったとき、お弁当を忘れたとき、タイツや靴下に穴が開いたとき、放課後、小腹がすいたとき、ぜひ尚文舎を利用してはどうでしょうか。



▲ 人気の7品。いくつ食べたことがある?

新聞局員がアンケート集計結果

尚文舎 利用状況



よく買うものは?

飲み物・パン・文房具
デザート・指定セーターなど

お二人のイメージは?

おねえさんの存在
やさしい!・フレンドリー
テキパキ働いている!
すぐ名前を覚えてくれた

どんな場所?

にぎやか・野球部がよくいる
生徒がよく集まる

今回の取材を通じて、お二人が温かく気楽に会話ができるお母さんのような存在である、だから、笑顔が集まる場所なんだと感じました。新入生のみなさん、尚文舎にいきましたか? 優しく笑顔で迎えてくれることでしょうか。新製品の入荷もあるそうです。お楽しみに!

オオタニ高校のせんせいたちをご紹介。

せんせいずかん

ヨネンシュニン科 スウガク属
オオノ アキラ

- ▼ 生息地
職員室のすみっこ
- ▼ 特徴
コアラ似
- ▼ 好きなもの
・冷や奴
・歴史物の本(聖徳太子)
- ▼ 座右の銘
すべてはうまくいっている



文武両道の秘訣
英語の弁論大会で優勝したことからもわかるように、成績もよい。テスト前などは、通っているプールに行く電車の中で勉強しているそう。上手に気持ちを切り替えて、集中した勉強をしているようです。
とても謙虚で、控えめな村中さん。一生懸命質問に答えてくれる、かわいらしい人でした。



村中みいな
Mina Murakami

水泳部3年生
今年4月、日本選手権
400m自由形6位入賞。
昨年の英語弁論大会で
全道優勝に輝く。

がんばる部員に聞いてみよう!

吹奏楽局 第6回スプリング・コンサート

2012年4月30日(月・祝) 15:30 開場 16:00 開演

「札幌市教育文化会館 大ホール」 入場料 ¥500

(演奏曲) 榎屋雅徳「ラ・スペランツァ(希望)」

「ひょっこりひょうたん島」ほか

「東日本大震災」の復興を祈念して演奏します



新聞局員募集中

大人って、なに考えてるんだらう。そう思ったことはありませんか? 仕事をする人に話を聞ける、編集を通して人生を学ぶ、そんなことができるクラブ。新聞局、入りませんか?

詳しくは
大浅(6-5)
または
横山先生まで